



2023年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月23日

上場会社名 株式会社PLANT

上場取引所 東

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ツ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

定時株主総会開催予定日 2023年12月19日

配当支払開始予定日 2023年12月20日

有価証券報告書提出予定日 2023年12月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の業績(2022年9月21日～2023年9月20日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年9月期	97,548	2.3	1,569	8.4	1,825	19.2	183	43.5
2022年9月期	95,331		1,448	6.2	1,531	7.5	324	71.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2023年9月期	23.46		1.2	4.5	1.6
2022年9月期	40.59		2.1	3.7	1.5

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 百万円 2022年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2023年9月期	41,049	15,674	38.2	2,027.89
2022年9月期	40,292	15,813	39.2	1,981.75

(参考) 自己資本 2023年9月期 15,674百万円 2022年9月期 15,813百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	2,927	1,130	1,613	6,383
2022年9月期	2,319	1,578	2,322	6,200

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2022年9月期		5.00		17.00	22.00	175	54.2	1.1
2023年9月期		5.00		27.00	32.00	247	136.4	1.6
2024年9月期(予想)		20.00		30.00	50.00		27.2	

3. 2024年9月期の業績予想(2023年9月21日～2024年9月20日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	2.1	800	27.2	850	7.6	600	30.1	79.55
通期	98,000	0.5	1,800	14.7	1,900	4.1	1,350	636.6	183.56

(注) 当社は2023年10月23日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。2024年9月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期	8,090,000 株	2022年9月期	8,090,000 株
期末自己株式数	2023年9月期	360,280 株	2022年9月期	110,280 株
期中平均株式数	2023年9月期	7,814,124 株	2022年9月期	7,998,657 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度(自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進みました。一方、ウクライナ情勢をめぐる地政学リスクの長期化や世界的なインフレ圧力により、エネルギー資源や原材料の価格高騰を受けて、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、急速な円安の進行、原油価格、原材料価格の高騰により、食料品や消耗品を中心に幅広い品目において相次いで物価の上昇が加速いたしました。そのため、消費者の節約志向、低価格志向が一層高まったこと、更には業種業態を超えた販売競争が一層激化するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は、収益力の強化を最重要課題とし、下記の施策に積極的に取り組んでおります。

a. 改装の実施

既存店活性化により客数・売上増を図るため、ワクワク感が感じられる売場を目指し、当事業年度は高島店の改装を実施いたしました。

b. P B 商品開発強化

当社にしかない価値ある P B 商品を開発し、目的来店性・粗利率アップを図ります。当事業年度は新たに300アイテム以上を開発し販売しました。

c. R-9 (R=Revolution 人件費9億円削減)

人口減による人手不足・労働単価上昇への対応として機械化等を推進し業務の合理化を図ります。当事業年度は、志摩店、淡路店、斐川店及び出雲店の4店舗にセルフレジを導入いたしました。

以上の結果、当事業年度末における経営成績は、売上高は97,548百万円(前年同期比2.3%増)となりました。利益におきましては、営業利益は1,569百万円(前年同期比8.4%増)、経常利益は1,825百万円(前年同期比19.2%増)、当期純利益は、固定資産残存簿価の一部を減損処理し特別損失1,561百万円を計上したため、当期純利益は、183百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ、756百万円増加し、41,049百万円となりました。これは主に、土地が1,926百万円増加したことによるものであります。

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ、895百万円増加し、25,374百万円となりました。これは主に、買掛金が564百万円増加したことによるものであります。

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末に比べ、138百万円減少し、15,674百万円となりました。これは主に、当期純利益が183百万円となり、剰余金の配当が174百万円、自己株式の取得が164百万円あったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ183百万円増加し、6,383百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は2,927百万円（前年同期2,319百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益600百万円、減価償却費1,535百万円があった一方、棚卸資産の増加384百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は1,130百万円（前年同期1,578百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得1,001百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は1,613百万円（前年同期2,322百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出826百万円があったことによるものであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
自己資本比率(%)	34.5	37.5	39.2	38.2
時価ベースの自己資本比率(%)	16.2	14.2	12.8	15.1
債務償還年数(年)	2.0	23.3	3.8	2.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	49.6	4.3	26.1	42.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は、期末株価×期末発行済株式数により算出しています。

（注2）有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債の内、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4）利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果もあり、雇用や所得環境が改善する中、緩やかな回復が期待されますが、欧米をはじめ世界的な金融引き締めによる影響や中国経済の先行きが心配されるなど、海外景気の下振れ、並びに更なる物価の上昇や住宅ローン金利の上昇等、生活を直撃する懸念が続くものと思われま

す。また低価格競争の激化、ネット販売や食品の宅配等の事業環境変化、人手不足のなか人材確保にかかる人件費をはじめ、物流コスト等各種経費が上昇し、今後も経営環境は益々厳しさを増すものと思われま

す。このような状況のもと、第43期（2024年9月期）につきましても、引き続き「改装での既存店活性化による客数・売上増」「PB強化による目的来店性・粗利率アップ」「業務の合理化による人件費削減」を重点施策とし、収益構造改革に取り組んでまいります。

以上のことから、2024年9月期の業績見通しといたしましては、売上高98,000百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益1,800百万円（前年同期比14.7%増）、経常利益1,900百万円（前年同期比4.1%増）、当期純利益1,350百万円（前年同期比636.6%増）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年9月20日)	当事業年度 (2023年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,200	6,383
売掛金	1,841	2,200
リース投資資産	30	28
商品	8,232	8,621
貯蔵品	39	34
その他	532	587
流動資産合計	16,877	17,856
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,795	22,807
減価償却累計額	△14,559	△15,058
建物(純額)	9,236	7,749
構築物	3,619	3,496
減価償却累計額	△2,609	△2,705
構築物(純額)	1,009	791
機械及び装置	324	391
減価償却累計額	△168	△207
機械及び装置(純額)	155	184
車両運搬具	84	76
減価償却累計額	△68	△65
車両運搬具(純額)	16	10
工具、器具及び備品	2,407	3,195
減価償却累計額	△1,259	△1,623
工具、器具及び備品(純額)	1,148	1,571
土地	5,327	7,254
リース資産	3,662	3,243
減価償却累計額	△1,980	△2,275
リース資産(純額)	1,681	967
建設仮勘定	24	7
有形固定資産合計	18,600	18,536
無形固定資産		
借地権	1,161	1,054
ソフトウェア	328	390
リース資産	35	21
その他	7	6
無形固定資産合計	1,532	1,472
投資その他の資産		
投資有価証券	24	27
リース投資資産	138	110
長期前払費用	71	60
繰延税金資産	569	677
敷金及び保証金	2,454	2,284
その他	23	23
投資その他の資産合計	3,281	3,183
固定資産合計	23,415	23,192
資産合計	40,292	41,049

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年9月20日)	当事業年度 (2023年9月20日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	728	641
買掛金	6,312	6,876
1年内返済予定の長期借入金	622	480
リース債務	446	300
未払金	696	1,226
未払費用	1,097	1,171
未払法人税等	412	320
賞与引当金	463	581
その他	444	673
流動負債合計	11,225	12,272
固定負債		
長期借入金	6,683	6,000
リース債務	1,100	804
退職給付引当金	1,757	573
長期未払金	65	2,314
長期預り敷金保証金	331	309
資産除去債務	3,314	3,100
固定負債合計	13,253	13,102
負債合計	24,478	25,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425	1,425
資本剰余金		
資本準備金	1,585	1,585
資本剰余金合計	1,585	1,585
利益剰余金		
利益準備金	257	257
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,829	1,836
別途積立金	3,141	3,141
繰越利益剰余金	7,591	7,592
利益剰余金合計	12,820	12,828
自己株式	△0	△164
株主資本合計	15,830	15,674
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17	—
評価・換算差額等合計	△17	—
純資産合計	15,813	15,674
負債純資産合計	40,292	41,049

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
売上高		
商品売上高	94,941	97,130
不動産賃貸収入	389	417
売上高合計	95,331	97,548
売上原価		
商品期首棚卸高	7,332	8,232
当期商品仕入高	75,052	75,877
合計	82,385	84,109
商品期末棚卸高	8,232	8,621
商品売上原価	74,152	75,488
不動産賃貸原価	68	71
売上原価合計	74,221	75,559
売上総利益	21,109	21,989
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	8,879	8,828
賞与引当金繰入額	463	581
退職給付費用	149	146
減価償却費	1,506	1,527
その他	8,662	9,335
販売費及び一般管理費合計	19,661	20,419
営業利益	1,448	1,569
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
受取手数料	143	146
助成金収入	24	25
受取保険金	15	19
補償金収入	—	50
支援金収入	—	82
雑収入	47	42
営業外収益合計	234	370
営業外費用		
支払利息	94	71
固定資産除却損	20	4
投資有価証券評価損	—	13
雑損失	36	24
営業外費用合計	151	114
経常利益	1,531	1,825
特別利益		
補助金収入	260	121
資産除去債務戻入益	—	37
退職給付制度移行益	—	177
特別利益合計	260	336
特別損失		
減損損失	991	1,561
特別損失合計	991	1,561
税引前当期純利益	800	600
法人税、住民税及び事業税	550	526
法人税等調整額	△73	△108
法人税等合計	476	417
当期純利益	324	183

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,425	1,585	257	1,709	3,141	7,555	12,663	△0	15,674
当期変動額									
固定資産圧縮積立金の積立				181		△181	—		—
固定資産圧縮積立金の取崩				△60		60	—		—
剰余金の配当						△168	△168		△168
当期純利益						324	324		324
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	120	—	35	156	—	156
当期末残高	1,425	1,585	257	1,829	3,141	7,591	12,820	△0	15,830

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	△12	15,662
当期変動額		
固定資産圧縮積立金の積立		—
固定資産圧縮積立金の取崩		—
剰余金の配当		△168
当期純利益		324
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4	△4
当期変動額合計	△4	151
当期末残高	△17	15,813

当事業年度(自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,829	3,141	7,591	12,820	△0	15,830	
当期変動額										
自己株式の取得								△164	△164	
固定資産圧縮積立金の 積立				84		△84	—		—	
固定資産圧縮積立金の 取崩				△77		77	—		—	
剰余金の配当						△174	△174		△174	
当期純利益						183	183		183	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	7	—	1	8	△164	△155	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,836	3,141	7,592	12,828	△164	15,674	

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△17	15,813
当期変動額		
自己株式の取得		△164
固定資産圧縮積立金の 積立		—
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
剰余金の配当		△174
当期純利益		183
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	17	17
当期変動額合計	17	△138
当期末残高	—	15,674

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	800	600
減価償却費	1,514	1,535
長期前払費用償却額	5	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	38	118
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	104	△1,184
未払金の増減額 (△は減少)	90	402
長期未払金の増減額 (△は減少)	△38	659
減損損失	991	1,561
補助金収入	△260	△121
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	94	71
売上債権の増減額 (△は増加)	△121	△358
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△914	△384
仕入債務の増減額 (△は減少)	21	476
未払消費税等の増減額 (△は減少)	102	136
退職給付制度移行益	—	△177
資産除去債務戻入益	—	△37
その他	157	192
小計	2,582	3,490
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△88	△69
補助金の受取額	260	121
法人税等の支払額	△435	△616
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,319	2,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△350	—
定期預金の払戻による収入	600	—
有形固定資産の取得による支出	△1,731	△1,001
無形固定資産の取得による支出	△112	△217
投資有価証券の取得による支出	—	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△122
敷金及び保証金の回収による収入	21	210
その他	△5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,578	△1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,641	△826
配当金の支払額	△167	△174
自己株式の取得による支出	—	△164
その他	△512	△447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	△1,613
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,581	183
現金及び現金同等物の期首残高	7,781	6,200
現金及び現金同等物の期末残高	6,200	6,383

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	65,423	29,518	389	95,331

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	66,754	30,376	417	97,548

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
1株当たり純資産額(円)	1,981.75	2,027.89
1株当たり当期純利益(円)	40.59	23.46

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2022年9月20日)	当事業年度末 (2023年9月20日)
純資産の部の合計額(百万円)	15,813	15,674
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	15,813	15,674
期末の普通株式の数(株)	7,979,720	7,729,720

(注) 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
当期純利益(百万円)	324	183
普通株式に係る当期純利益(百万円)	324	183
期中平均株式数(株)	7,998,657	7,814,124

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年10月23日開催の取締役会において、会社法459条第1項の規定による当社定款第45条の定めに基づき、自己株式の取得に係る事項について決議するとともに、同法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

株主の皆さまへの利益還元及び資本政策の向上を図るため、自己株式の取得及び消却を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 750,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 9.70%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 1,000百万円(上限) |
| (4) 取得する期間 | 2023年11月1日～2024年9月20日 |
| (5) 取得する方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

3. 消却に係る事項の内容

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| (1) 消却対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 360,280株
(消却前発行済株式総数に対する割合 4.45%) |
| (3) 消却予定日 | 2023年10月31日 |